

# RSウイルス感染症とは

RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。

RSウイルスは年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後6か月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも一度は感染するとされています。

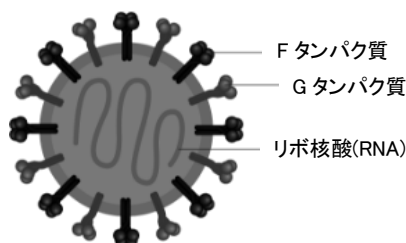
## 主な症状

潜伏期は2～8日とされ、発熱、鼻汁、咳などの上気道炎症症状が数日続きその後、場合によ

っては、気管支炎や肺炎などの下気道症状が出てきます。

初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに気管支炎の症状が増加します。

## RSウイルスの構造



## RSウイルスの症状



重篤な合併症として注意すべきものには、1歳以下では中耳炎の合併症がよく見られる他、無呼吸発作、急性脳症等があります。

受診の目安として、機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てずに様子を見たり、かかりつけ医にご相談下さい。

ただし呼吸が苦しいう、食事や水分摂取がでない時は医療機関への受診をご検討下さい。

一般的には、風邪の様な症状のみで重症となることは少ないとされていますが、慢性呼吸器疾患等の基礎疾患のある高齢者や免疫不全者

図1.RSウイルス感染症の主な症状<sup>2)</sup>



## 感染経路

RSウイルスに感染した人の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物などを介した接触感染といわれています。

## 治療方法

基本的には、症状に応じた治療（対症療法）を行います。重症化した場合には酸素投与、点滴、呼吸管理などを行います。

## 予防と対策

基本的な感染対策を生活習慣にしましょう。日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤などで消毒し、流水・石鹸による手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生を行うことが重要です。また、鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合

謹賀新年

謹んで新年のお慶び申し上げます  
本年もよろしく  
お願いいたします  
令和8年 元旦



曾山医院

診療予約は  
こちらから

電話予約：0799-62-5566（診療時間内）

ネット予約：<https://ssc6.doctorqube.com/soyama-clinic/>（24時間対応）

\* 携帯電話からは右のQRコードからでも予約できます \*

